

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2005-181561 (P2005-181561A)
【公開日】平成 17 年 7 月 7 日 (2005.7.7)
【年通号数】公開・登録公報 2005-026
【出願番号】特願 2003-420400 (P2003-420400)
【国際特許分類第 7 版】

G 0 3 G 21/00

B 6 5 G 61/00

【F I】

G 0 3 G 21/00 3 8 8

G 0 3 G 21/00 3 8 6

G 0 3 G 21/00 3 9 6

B 6 5 G 61/00 4 2 6

【手続補正書】
【提出日】平成 17 年 8 月 30 日 (2005.8.30)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】消耗品の管理装置及び管理方法

【手続補正 2】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

ネットワークに接続された 1 乃至複数台の印刷装置を有する印刷システムに於ける前記印刷装置の消耗品を管理する消耗品管理装置であって、

前記消耗品の価格と、予め定められている所定の購入金額とを記憶する消耗品データ記憶手段と、

前記印刷装置の消耗品使用残量を取得する残量検出手段と、

前記消耗品使用残量から消耗品の発注の要否を判断する要発注判定手段と、

該要発注判定手段が発注必要と判断した要発注消耗品の発注金額を前記消耗品の価格に基づいて累積加算する発注額累積手段と、

該発注額累積手段が累積加算した累積金額が前記所定の購入金額を越えるまでに前記要発注判定手段が発注必要と判断した要発注消耗品を発注消耗品として決定する発注消耗品決定手段と、

前記発注消耗品を所定の様式にまとめて発注する発注処理手段とを備えることを特徴とする消耗品管理装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の消耗品管理装置に於いて、

前記累積金額が所定の印刷装置について前記所定の購入金額を越えることなく累積終了すると他の印刷装置に対象を変更して累積加算し、該所定の金額を越えるまで前記発注金額を累積すべく対象選択手段を更に備えることを特徴とする消耗品管理装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の消耗品管理装置に於いて、

前記累積金額が前記所定の購入金額を越えた後に前記要発注判定手段が発注必要と判断した要発注消耗品について要発注の警告を表示する警告表示手段を更に備えることを特徴とする消耗品管理装置。

【請求項 4】

ネットワークに接続された 1 乃至複数台の印刷装置を有する印刷システムに於ける前記印刷装置の消耗品を管理する消耗品管理装置であって、

前記消耗品の価格と、該消耗品の優先度と、予め定められている所定の購入金額とを記憶する消耗品データ記憶部と、

前記ネットワークに接続された全ての印刷装置の消耗品使用残量を取得する残量検出手段と、

前記全ての印刷装置の消耗品使用残量から消耗品の発注の要否を判断する発注候補選定手段と、

該発注候補選定手段が前記発注必要と判断した要発注消耗品について前記消耗品の優先度に基づいて発注優先度を設定する発注優先度設定手段と、

前記優先度の大きい順番に前記要発注消耗品の発注金額を前記消耗品の価格に基づいて累積加算する発注額累積手段と、

該発注額累積手段が累積加算した累積金額が前記所定の購入金額を越えるまでに前記発注候補選定手段が発注必要と判断した要発注消耗品を発注消耗品として決定する発注消耗品決定手段と、

前記発注消耗品を所定の様式にまとめて発注する発注処理手段とを備えることを特徴とする消耗品管理装置。

【請求項 5】

ネットワークに接続された 1 乃至複数台の印刷装置を有する印刷システムに於ける前記印刷装置の消耗品を管理する消耗品管理装置であって、

前記消耗品の価格と、予め定められている所定の購入金額と、前記複数台の印刷装置をグループ分けする端末グループ情報とを記憶する消耗品データ記憶部と、

前記ネットワークに接続された全ての印刷装置の消耗品使用残量を取得する残量検出手段と、

前記全ての印刷装置の消耗品使用残量から消耗品の発注の要否を判断する発注候補選定手段と、

該発注候補選定手段が前記発注必要と判断した要発注消耗品について前記複数台の印刷装置のグループ分けに基づいて発注優先度を設定するグループ内優先度設定手段と、

前記優先度の大きい順番に前記要発注消耗品の発注金額を前記消耗品の価格に基づいて累積加算する発注額累積手段と、

該発注額累積手段が累積加算した累積金額が前記所定の購入金額を越えるまでに前記発注候補選定手段が発注必要と判断した要発注消耗品を発注消耗品として決定する発注消耗品決定手段と、

前記発注消耗品を所定の様式にまとめて発注する発注処理手段とを備えることを特徴とする消耗品管理装置。

【請求項 6】

請求項 4 又は請求項 5 に記載の消耗品管理装置に於いて、

前記発注候補選定手段が、所定の印刷装置について全ての消耗品調査が終了すると、他の印刷装置に調査対象を変更する、対象選択手段を更に備えることを特徴とする消耗品管理装置。

【請求項 7】

ネットワークに接続された 1 台以上の印刷装置から消耗品を調査し、前記消耗品を調査した結果と判定閾値とを比較し発注要か否かを判断し、

発注要となった消耗品を価格に基づき累積加算した結果を用いて前記発注要となった消

耗品が発注可能か否かを判断し、

該発注可能か否かの判断に基づき発注要となった消耗品のデータを出力する、ことを特徴とする消耗品管理方法。

【請求項 8】

請求項 7 記載の消耗品管理方法において、

前記印刷装置のセンサーにより測定した前記消耗品の使用残量情報を読み出し調査することを特徴とする消耗品管理方法。

【請求項 9】

請求項 7 記載の消耗品管理方法において、

前記発注可となった消耗品を価格に基づき累積加算した結果に前記発注要となった消耗品を価格に基づき加算した結果が上限を超えると前記発注要となった消耗品を発注不可と判断することを特徴とする消耗品管理方法。

【請求項 10】

請求項 9 記載の消耗品管理方法において、

前記発注不可と判断した消耗品の発注不可データを表示することを特徴とする消耗品管理方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、任意の台数の印刷装置を含む印刷システムに於ける印刷装置用消耗品の管理を行う消耗品管理装置及び管理方法に関するものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、使用残量が少なくなつて、発注する必要が認められた複数の消耗品について、それらの購入価格を累積加算する発注額累積手段と、該発注額累積手段によって累積加算された累積金額が所定の購入金額を越えると、該所定の購入金額を越えるまでに発注必要と判断された要発注消耗品を発注する発注処理手段とを備えることを最も主要な特徴とする。

他の発明は、ネットワークに接続された 1 台以上の印刷装置から消耗品を調査し、消耗品を調査した結果と判定閾値とを比較し発注要か否かを判断し、発注要となった消耗品を価格に基づき累積加算した結果を用いて発注要となった消耗品が発注可能か否かを判断し、該発注可能か否かの判断に基づき発注要となった消耗品のデータを出力する、ことを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

ステップ S 1 - 8

全ての印刷装置について調査が終了した場合にはステップ S 1 - 10 へ進み、全ての印刷装置について調査が終了していない場合にはステップ S 1 - 9 へ進む。

ステップ S 1 - 9

制御部 8 の対象選択手段 8 - 3 (図 1) は、調査対象を変更する。ここでは、調査対象が印刷装置 2 0 2 (図 2) に変更される。このステップ S 1 - 8 とステップ S 1 - 9 とが請求項中の対象選択手段に該当する。